

<p>現状況</p>	<p>源涵養、山地保全などの公益的機能の維持増進が適切に図られた。 また、林道等の適切な開設及び改良を実施したことにより、森林整備施業地までの到達時間の短縮や作業コストの縮減など森林整備経費の縮減が図られた。</p>
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>本事業で整備した森林においては、ニホンジカによる食害が甚大な地域であるが、効率的な防護柵等の対策を実施しつつ、継続して適切に管理を行っている。 また、本事業で整備した林道等は、除草作業や路面整備等を適切に実施しており、維持管理状況は良好である。</p>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備の実施により、重視すべき機能（水源涵養等）の区分に応じた良好な森林が形成されつつある。 また、路網整備による森林整備施業地までの到達時間の短縮、作業コストの縮減等により、国有林材の安定供給にも繋がっている。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>県内の林業従事者の減少幅は小さくなってきたが、依然として厳しい状況にあり、森林組合をはじめとする林業事業体等の事業規模も小さい状況である。 このような中、県では法定外目的税として森林環境税を平成15年から導入し、保全政策を行っているほか、新規林業従事者を確保するための対策に取り組むとともに、高知県では、成熟しつつある人工林資源を利活用するために、森林を集約化した「森の工場」を推進し、木材増産計画に取り組むなど、事業体に取り組む森林整備や生産活動に対して支援を進め、林業の復興を積極的に進めている。 こうした状況の中、国有林に対しては、地球温暖化防止や山地災害防止、水源涵養など森林の公益的機能の発揮が求められており、さらに、近年では、県内でも大型のバイオマス発電工場が稼働するとともに、四国域内では大型の製材工場が次々に稼働するなど、今後、益々木材の安定的な供給を通じ地域産業の振興に寄与することが求められている。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>公益的機能を長期にわたって更に発揮させるため、周辺の環境に配慮しつつ、事業計画に基づき着実に事業を実施する必要がある。 また、今後の事業においても、トータルコスト縮減に繋がる検討及び分析等が重要である。 なお、一般の事業実施に関する事業対象区域の地方自治体からの意見は、以下のとおりとなっている。</p> <p>【高知県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施により、地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の維持増進が図られていると考えられる。 また、路網整備の推進により、森林整備施業地へのアクセスが向上し、木材の安定供給や素材生産の低コスト化が期待される。 <p>【室戸市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林環境保全整備事業により森林の多面的機能発揮の効果を認識している。 <p>【安芸市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林環境保全整備事業により、水源涵養、山地災害など森林の持つ多面的機能が向上し、より高度に発揮されている。今後についても、多面的機能の更なる向上をめざし、森林の整備・保全を指導していくことが重要であると考えている。 <p>【東洋町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林環境保全整備事業による森林整備により、森林の公益的機能が発揮されていることを認識している。 <p>【奈半利町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林環境保全整備事業の実施により、水源涵養や山地保全など森林の持つ多面的機能の維持増進が図られてきている。今後も、森林の持つ多面的機能が、持続

	<p>的に発揮できるよう森林整備をお願いしたい。</p> <p>【安田町】 ・森林環境保全整備事業での森林整備による公益的機能の維持を期待する。</p> <p>【北川村】 ・森林整備により森林の持つ公益的機能の維持に大きく貢献し、事業の効果を認識している。</p> <p>【馬路村】 ・林野公共事業で行われた本村における森林環境保全整備事業により、水源涵養など、森林の有する多面的機能の充実が図られ、また、地域の活性化にも大きな貢献があった。今後も、森林の有する多面的機能の充実を図るとともに、地域活性化への協力を強く要望する。</p>
<p>森林管理局事業評価技術検討会の意見</p>	<p>森林整備事業を行うことで木材生産等を通じて地域振興への寄与や森林の公益的機能が発揮されており、今後とも評価結果を踏まえた事業の実施が望まれ、必要性、効率性、有効性など評価の観点から妥当なものとなっている。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地球温暖化防止や山地保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮に寄与するとともに、拡大するニホンジカ被害への効果的な防止対策の適切な実施及び国有林の特性を踏まえた木材の安定供給に関する地域の要請に応えており、事業の必要性が認められた。 ・効率性： 地域の特性を踏まえた計画的な路網と森林整備の実施により、森林整備施業箇所へのアクセスの向上、コスト縮減が図られており、効率的な事業の実施であったと認められる。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、森林の有する公益的機能の発揮や木材の安定供給が図られ、引き続きその効果が発現されるものと見込まれるため、有効な事業であったと認められる。

※平成19年度の評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名 : 森林環境保全整備事業

都道府県名 : 高知県

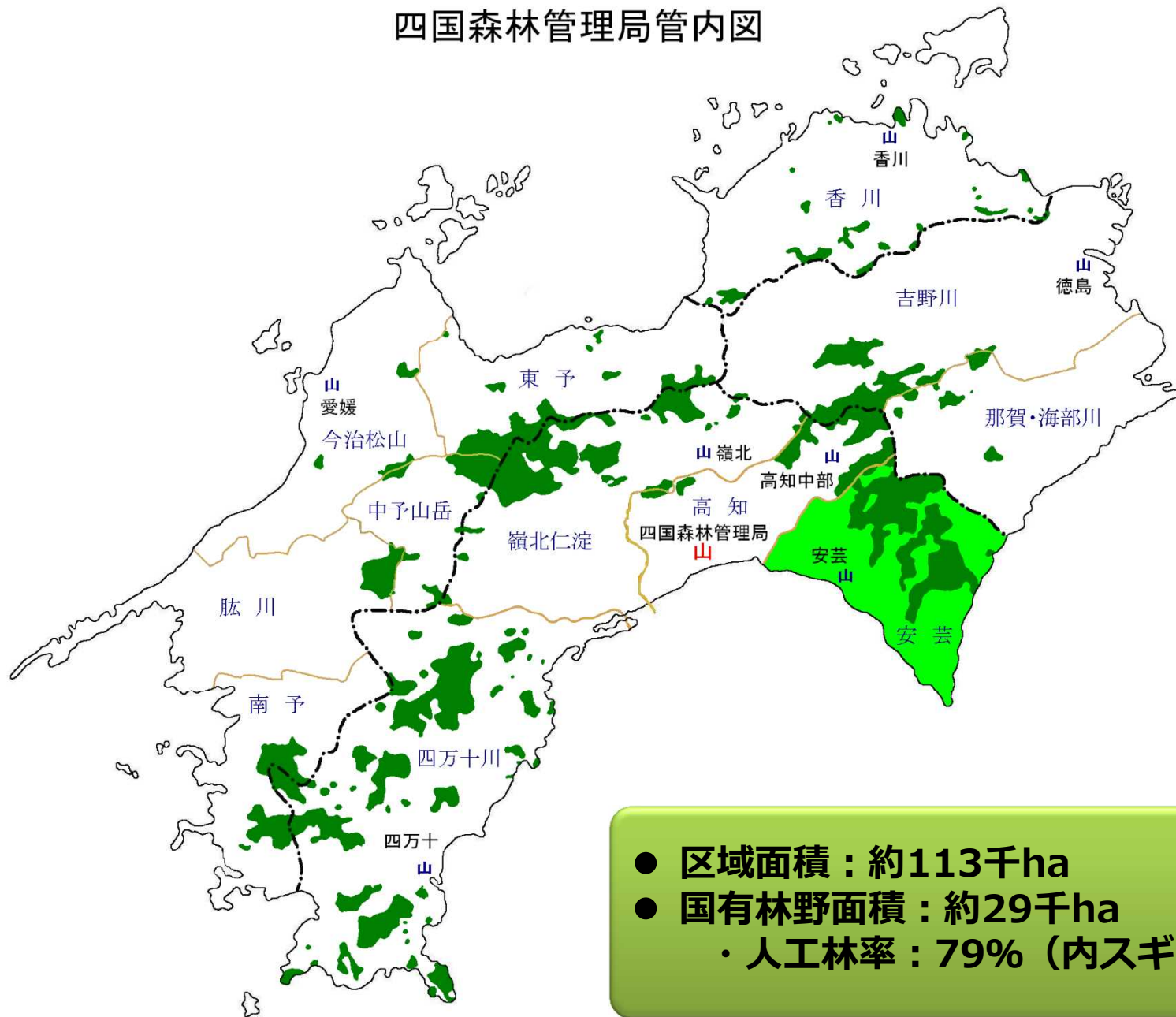
施行箇所 : 安芸森林計画区

(単位 : 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	12,727,334	
	流域貯水便益	5,218,898	
	水質浄化便益	11,009,011	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,710,737	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	3,612,321	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,715,981	
	木材利用増進便益	4,517,909	
	木材生産・確保増進便益	933,305	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	2,478,653	
総便益 (B)		49,924,149	
総費用 (C)		10,379,559	
費用便益比 (B/C)		4.81	

安芸森林計画区的位置図

四国森林管理局管内図



- 区域面積：約113千ha
- 国有林野面積：約29千ha
 - ・人工林率：79%（内スギ59%）